



ト・夢・あかえ

10:00~



find us on facebook.



自治会に加入しましょう

作って食べよう!

12月1日(日) 17名参加

今年は豚丼、マカロニサラダ、味噌汁、牛乳ゼリーに挑戦しました。包丁を初めて使う子も、猫の手で上手にカットできました。班で協力して調理もスムーズにでき、配膳では、自分に必要なご飯の量を計りその重さにビックリしながらも、美味しくいただきました。

(協力:宮崎友の会)



ミニサロン～アロマクリーム作り～

2月20日(木) 11名参加

2月20日に暮らしの保健室にて『アロマクリーム作り』が行われました。好きな香りや効能のオイルを選んでクリームを作り、オイルを使ったハンドマッサージを習いました。参加者のみなさんからは「わかりやすく勉強になった」「皆さんとの会話も弾み楽しい時間だった」などの声がありました。良い香りに包まれて、癒しのミニサロンでした。



子育てサロン

6月、10月、12月、2月

今年度より恒久児童館・たんぽぽKIDSクラブ(地域内の子育てサークル)と共に子育てサロンを行いました。児童館を会場に作品作り、運動会、ハロウィン、クリスマス会、音楽会など様々な催しを行い親子で楽しい時間を過ごしました。



第5回 小戸之橋ストリートフェスティバル

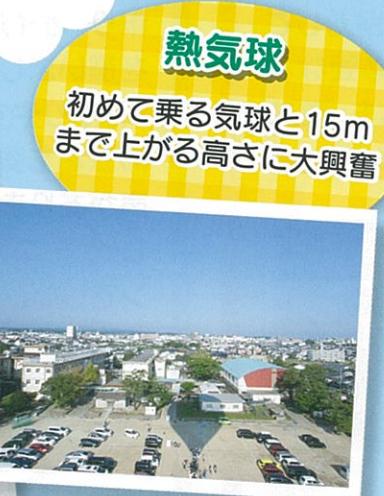
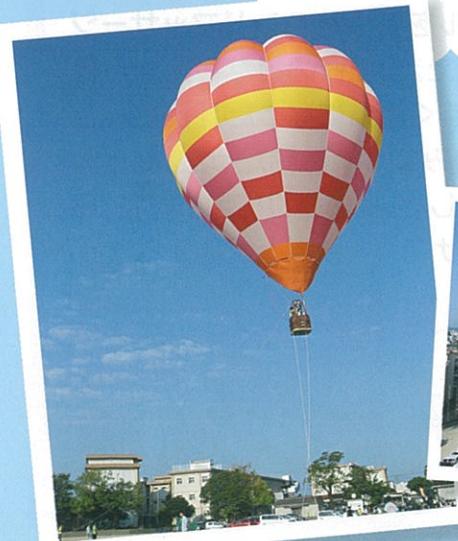
ー中庭・グラウンドー

10/5 土
開催

来場者 1,500人

10月5日(土曜)、赤江小学校で「第5回 小戸之橋ストリートフェスティバル」が開催されました。当日は朝から晴天に恵まれ、たくさんの来場者で多いに賑わいました。今回も宮崎大学気球部の協力のもと熱気球でフェスティバルがスタート。グラウンドには搭乗を楽しみにしてた多くの方が朝早くから並び、上空に浮く気球に歓声があがっていました。

中庭ではストーンアートや親子木工教室で自分だけの作品を作ったり、宮崎農業高校ボランティア部の生徒と一緒に調理もしました。避難体験や資機材展示、マンホールトイレなど防災についていろいろ体験しました。



熱気球

初めて乗る気球と15mまで上がる高さに大興奮



ストーンアート

気に入った石にカラフルなペンを使って自分の好きな絵を描きました



木工体験

お父さんお母さんと一緒に、初めて作った椅子に大満足



フードコート

地域のお店もたくさん出店しました



宮崎農業高校の生徒さんに鰯節の削り方と味噌汁の作り方を教えてもらいました



宮崎農業高校の生徒さんに鰯節の削り方と味噌汁の作り方を教えてもらいました



宮崎市消防団
赤江分団

赤江中学校 吹奏楽部



オープニングの
合唱と演奏
賑やかにスタート
しました



宮崎南小学校



子どもクイズと
昔の遊びコーナー
たくさんの子どもたちで
賑わいました



あゆみ保育園
のおともだち
笑顔いっぱい
元気いっぱいの
演奏でした

体育館では宮崎南小学校「南っ子メロディー部」の合唱と赤江中学校吹奏楽部の演奏でスタート。爽やかな歌声と綺麗な音色に続いてあゆみ保育園の元気いっぱいの太鼓演奏で館内は笑顔でつつまれました。

こどもクイズや昔の遊びを体験することもコーナー、宮崎公立大学茶道部による茶道教室やホームホスピス宮崎のリラックスブースには多くの方が集まり、掲示コーナーには小戸之橋の歴史を振り返る小戸之橋ラボや橋の絵コンテスト、ポスターの展示など多くの掲示物も貼り出されました。

賑わったフェスティバルはせんぐまきでフィナーレ。館内にはたくさんの方々が集まり、大声で叫びながら飛んでくる品に腕を伸ばしてました。

茶道体験教室

自分でたてたお茶は
苦いけど美味しかった



ポスター・
写真・絵画
たくさんの掲示物
がありました



第5回 小戸之橋ストリート フェスティバル

- 体育館 -

迫田病院



健康相談や
リラックス出来た
タクティールケア体験



グランドフィナーレ
のせんぐまき

今回ご来場いただいた皆様、
ありがとうございました





～五感で楽しむ～ チェロと茶の湯

10月19日(土)宝泉寺(恒久3丁目)でチェロと茶の湯のコラボによるミニコンサートが行われました。チェロ演奏は土田浩さん、ピアノ演奏は土田悦子さん。音楽に合わせて小牧宗芳さん(文化部会)がお茶を点てるパフォーマンスも披露されました。心地よい響きを耳にした後は、小牧さんと宮崎公立大学茶道部の皆さんによって、参加者にお抹茶がふるまわれました。乳児から80歳代まで37名の住民に歴史や伝統文化を学んでいただきながら、日本文化であるお寺で和と洋の調和を感じることができる楽しい交流の場となりました。



かつての景勝地「松崎」を歩く

去る11月9日(土)午前9時、松崎地区周辺のまち歩き「かつての景勝地 松崎を歩く」が開催されました。当日の天気は上々、スタッフを含む約30名の参加者が5km、3時間ほどの歴史散歩を楽しみました。スマホやタブレットでGIS(地理情報システム)を体験したあと、松崎寺の案内を聞いたり、200人が収容できる蛎原津波避難タワーに登っておやつを頂いたり、皆さん満足そうでした。



こどもエコ工作

8月1日(木) 32名参加

夏休み中の8月1日に実施しました。兄弟や友達等と一緒に、定員オーバーの36名の申し込みがあり(32名参加)保護者も含め赤江地域センターの2階会議室がいっぱいになる大盛況でした。

宮崎工コの会の方々のサポートもあり、牛乳パックを使った万華鏡や貯金箱、ボロッケンを作成しました。

参加者は手作りの作品を夏休みの工作課題として出すと、笑顔でいっぱい満足そうでした。
(協力:宮崎工コの会)



ごみ拾いウォークラリー

1月18日(土) 215名参加

赤江中学校の部活動生を中心に宮崎南小学校や恒久小学校の親子など215名の参加で行われました。

赤江地区青少協との共催事業として取り組み、本委員会からは炊き出しステーションを使ってのせんざい作り、豚汁作りを行いました。

ごみを集めながらウォークラリーを行い、疲れて戻ってきた参加者は、青少協の皆さんやまち推メンバーで作った豚汁、せんざいのふるまいにお腹いっぱいで満足そうでした。

宮崎犬のダンス、抽選会もあり、好天にも恵まれて盛会の内に終了しました。



あかえ花いっぱい

9月21日(土) 25名参加



多肉植物の「寄せ植え教室」を開催しました。当日は、経験したことが無いような…という言葉がピッタリの豪雨にも関わらず、多くの方に参加いただきました。

多肉植物は、水やりの回数が少なくて生命力が強く、手軽にお世話ができる植物です。

植物の配置に苦労する姿も見られましたが、出来上がった寄せ植えを参加者同士で披露しあって、ぷっくりとした健康的でかわいい姿に、みんなの笑顔あふれる教室でした。



食でつなぐわくわく防災

7月20日(土)



宮崎農業高校ボランティア部 2年 伊地知 茉香

私は、二年生になって初めて「食でつなぐわくわく防災」という事業の企画・運営をしました。昨年と同様、赤江まちづくり推進委員会の皆さんと連携して行った今年の主催事業には、約40名の地域の方々が参加しました。参加者の年代に合わせてゲームの内容を決め、タイトルに合った防災食レシピを、話し合いを重ねて作成しました。

当時は、大人の方との話し合いを通して今までのボランティア活動では得られなかった考え方を知ることができました。初めてのことで計画していた通りには進まなかったけど、その都度部員と相談しながら無事に終えることができました。事後アンケートでは、参加者の満足度が90パーセントという結果になり、とても嬉しかったです。

この主催事業で、主体的に行動することは大切なんだと思いました。とても大変だったけど、貴重な体験ができて良かったと思っています。今回のことを、これから活動につなげていきたいと思います。



青パト活動支援

まちづくりでは「あかえ青パト隊」の活動支援を行っています!

あかえ青パト隊は平成26年に結成し、現在は40名（うち女性10名）で活動をしています。活動の目的は、小中学生の登下校の見守り、高齢者の徘徊見守り、空き巣等の犯罪抑止などです。

小中学校PTA、青少協、まちづくり委員、病院、施設の職員さんが中心となって、地道な活動ですが、少しでも地域に貢献できればと考えています。

興味のある方は、簡単な講習で活動できますので、ぜひとも、PTA、青少協を通じて参加してください。

（隊長 村社 敏彦）



救命講座

2月2日(日) 30名参加

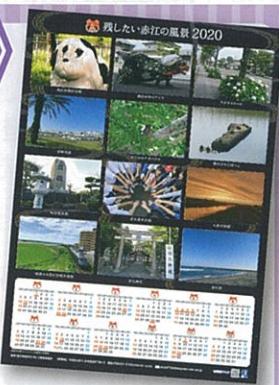
宮崎南消防署において「救命講座」が開催されました。

当日は中学生3名も初めて参加し、地域の方々と協力しながらAED使用法や人工呼吸蘇生法などを学び、救命急救の大切さを参加者全員で確認し合いました。実施後のアンケートでは「勉強になった。次年度以降も継続して開催してほしい！」との要望が数多く寄せられました。



残したい赤江の風景カレンダー2020

カレンダーを
発行しました



あかえ環境マップ



人口約35,000人が住む赤江地域の「自然を知ろう」ということで、平成24年に下敷きにマップを印刷して、小学生等に配布をいたしました。

今回、監修も再度、南谷忠志先生にお願いし、全国でも八重川にしかない希少種の貴重な写真等も提供いただきました。装丁はクリアファイルに印刷し、片面は透明にし、使いやすくしています。環境部会では、このマップの植物を訪ねて歩くという講座も開催できればと思っています。

資機材紹介

あんせん部会では災害支援活動の一環として地域内の小中学校へ備蓄品と資機材等を設置しています。この資機材・備蓄品のことを地域内の方にも広く知っていただきたいと思い、このようなパンフレットを作成いたしました。ご家庭でも「なにを準備しておくべきか？」などについて話し合っていただけたらと思います。



残したい赤江の風景

城ヶ崎に引っ越ししてもう10年はなるだろうか。早いものです。毎日の生活に追われて風景など見ることはなかった。家の前に小川が流れている。昔はここも氾濫していたようだ。しかし私が引っ越してきてから氾濫はない。その小川をよく見てみると小さい魚が泳いでいる。とても小さくてかわいらしい。仕事の合間に覗くととても癒される。この子たちにも両親は居るし命は宿っている。この私を癒してくれる小魚たちを水槽にすくい上げて飼ってみたいものだが、やっぱり自然が一番いい。



文：広報部会 平川晃

文化部会 松井用水路案内板

「赤江ってどんなまち？どんな土地？」「いつぐらいから人が住んでるの？」「どんな暮らをしてどんな歴史があったのだろう」などの問い合わせの下に、文化部会では年に1回のまち歩きを行ってきました。城ヶ崎、松井用水路、稻荷山周辺、曾井城跡、松崎などを歩いて、そのたびに赤江の魅力を再発見しました。そうして、歩きながら、もっと多くの人に赤江を知ってもらいたいと思い、案内板を作ることにしました。

あちこちから案内板の情報を持ち寄り、「案内板が必要なところはどこ？」「素材はどうする？石？アルミ？」などと話し合いながら、「ユニークな案内板があるよ」と聞けば、皆で見学に行ったりしました。第一弾として、赤江公民館前に、退色しにくいセラミック製の松井用水路の案内板が設置される予定です。ぜひ見に行ってください。

赤江公民館前を流れており松井用水路は、江戸時代の初めに造られ、現在も赤江や本郷の田んぼに水を運んでいます。その先駆的な取り組みは、宮崎市の小学生の副読本にも取り上げられています。近年までは、今よりももっと大きく深く水量が多く、田畠を潤すだけでなく、牛馬を飼ったり野菜を洗ったり、釣りや水泳など子どもたちの遊び場もありました。

案内板は次年度も設置を計画中です。どこに建てられるのかお楽しみに。

赤江地域まちづくり推進委員会事務局

〒880-0911 大字田吉5730-3

電話(FAX) 51-5122

(月～金 9:00～16:00 水曜定休日)

akae5730@miyazaki-catv.ne.jp

自治会に加入しましょう